

R8 鈴鹿サーキット (三重県)

エントリー台数 31台
観客動員数(土・日合計) 31,500人

11/2(土) 晴れ 公式予選 レース1 11位(タイム:2'07"817) レース2 17位(タイム:2'08"296)

11/3(日) 晴れ 決勝レース レース1(14周) 15位
曇り 決勝レース レース2(20周) 転倒、リタイヤ

合計獲得ポイント **47P**
ポイントランキング **19位**

■ ケガと戦ったシーズン終了。応援ありがとうございました

2019年の全日本ロードレース選手権は、三重県・鈴鹿サーキットでシリーズ最終戦を迎えた。前戦オートポリスがケガからの復帰戦となった生形はフィジカル面の向上に努め、レースウィークにはいい状態で臨むことができていた。今年も最終戦は事前テストがなく、木曜日の特別スポーツ走行からスタートした。鈴鹿8耐からはマシンの仕様が変わっていたこともあり、オートポリスのセットをベースに、木曜、金曜とセットアップして行く。金曜日にはロングランもこなし、レースに向けた課題も見えて来ていた。

最終戦MFJグランプリは、2レース制だが、日曜日に2レースとも行われる。今年はレース1が14周、レース2が20周とそれほど変わらない周回数で行われた。土曜日の公式予選は、午前にレース1の、午後にレース2のセッションがあり、それぞれ30分間で争われた。

<予選>レース1予選では2分07秒817をマークし、11番手とプライベーターではトップのポジションにつける。さらにタイムアップしようと臨んだレース2予選では、アタックラップに他車に引っかかってしまう。それでも2分08秒296をマーク。引っかかっていなければ2分07秒台に入っていたはずだ。レースウィークの天候は概ね晴れとなっており、朝から青空が出て日差しがアスファルトに降り注いだ。影の長さが季節を感じさせた。

<決勝レース1>迎えたレース1。スタートはやや出遅れ、オープニングラップは13番手でホームストレートに戻ってくる。レース序盤から混戦となり、周りの様子を見ながらペースを上げて行きたいところだった。しかしレース終盤逆にペースを上げられない状態になってしまい、ポジションを落とし15位でチェッカーフラッグを受けた。

<決勝レース2>そして今シーズン最後のレースとなるレース2決勝がスタート。レース1での結果を踏まえ、後半に勝負できるように落ち着いて周回を重ねていた。しかし、7周目のシケイン進入で予期せぬ動きがありコースアウトし、そのまま転倒してしまう。再スタートはできず悔しいリタイヤとなってしまった。



SPONSOR

